



岩手県立 気仙光陵支援学校高等部

岩手県立気仙光陵支援学校高等部では、将来の自立や地域での暮らしをイメージしながら、生徒一人一人の個性に寄り添った学習活動に取り組んでいます。

働く力や協調性、責任感を育てるために、教科学習のほか、農園芸、清掃活動、手芸、陶芸などの「作業学習」を行い、販売活動を通して校内外での社会的経験も積んでいます。

地域の方々との交流や行事への参加も盛んで、人とのつながりを大切にしながら、笑顔で未来へ歩み出せるよう、生徒一人一人に寄り添いながら学びを支えています。



生徒が製作した手芸品

学校での取り組み



農耕環境班



小学部との合同さつまいも掘り

手芸班



慎重に縫い物をする

陶芸班



光陵祭で販売する陶芸品を製作

光陵祭



生徒手作りの野菜、手芸品、陶芸品などを販売



～市内3県立学校の紹介～

気仙光陵支援学校高等部・大船渡東高等学校・大船渡高等学校

ひとりひとりの歩幅で未来へ。

このまちで学ぶという選択。



大船渡市には、進学を目指す学びも、地域に根ざした実践も、一人一人の個性に寄り添う学びもあります。それぞれの学校で、生徒たちは自分の歩幅で未来へと向けて歩んでいます。

このまちで学ぶことが、未来へとつながる力になる…

今回の広報では、市内3つの県立学校の「今」を紹介します。



入学からずっと、三陸鉄道で通っています！

大船渡高等学校



11月にみんなで食べようね！

気仙光陵支援学校高等部



たくさん資格取ろうね！

大船渡東高等学校



大船渡・大船渡東合同チームでバレー部は活動中



家庭クラブ連盟 初の県最優秀賞 研究発表大会

県立大船渡東高等学校食物文化科3年生22人が、岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会・学校家庭クラブ活動の部で最優秀賞を受賞し、東北大会への出場を決めました。

地域と連携して進めてきた「未利用魚の活用」、「あわびのまち大船渡のPR」、「綾里地区農家での体験・郷土料理伝承」の3つの課題研究に挑戦し、食を通じた地域の魅力を伝える取り組みが高く評価されました。

発表者の鈴木恭佳さんは、「最優秀賞に選ばれて驚いたが、自分たちの研究に価値を感じてもらえたことが嬉しかった」と力強く語ってくれました。



最優秀賞に輝いた食物文化科3年生22人



「若竹みそ」は今年も大人気



大盛況だった食堂



地元のさまざまな物を販売



自家製「トマトジュース」などを販売

東高祭



自分たちが丹精込めて育てた花

岩手県立 大船渡東高等学校

県立大船渡東高等学校には、食物文化科・農芸科学科・機械電気科・情報処理科の4学科があり、それぞれの専門分野を実践的に学び、また、地域の皆さんと連携し、地域の課題解決に向けてさまざまな取り組みを行い、「地域に学び、地域に貢献する」姿勢が息づいているのが特色です。

学校での取り組み

食物文化科

調理や栄養の実習を通して、健康と食の大切さを学び、調理師免許を取得します。



東高祭の伝統「松花堂弁当」を盛り付け中

農芸科学科

野菜や花の栽培、加工食品の販売を通じて農業分野を担う人材を育成しています。



ぶどうジュースの製造過程

機械電気科

ものづくりの基礎から高度な技術を学び、地域産業を担う人材を育成しています。



溶接など、さまざまな資格が取得可能

情報処理科

ビジネスやICTの知識などを学び、社会の変化に対応する人材を育成しています。



情報処理科の授業風景

躍動！太鼓部



さまざまなイベントに出演する太鼓部

自分の店を持ちたい！



食物文化科3年 ひらやま こうが 煌牙さん

中学では料理に興味はなかったが、高校で料理をするのが楽しくなった。
高校卒業後は、飲食関係の仕事をするようになっており、将来は自分の店を持つのが夢。

情報処理科3年 にいぬま れつ 烈さん

簿記や情報処理などの資格を5つ取ることができ、この学校に入って良かった。
一旦、専門学校で地元を離れるが、将来は県内に戻り幸せな家庭を築きたい。

幸せな家庭を築きたい！



在校生 VOICE 卒業生

勤務先：大船渡秋刀魚だし黒船



ささき あゆと 逢人さん
(R5年度 食物文化科卒)

調理技術検定に1回落ちたけど、その時、先生方が寄り添ってサポートしてくれた。自分のように、地元で料理をしたい人にとって、食物文化科があってくれて将来の幅が広がった。

勤務先：東北汽船港運株



みうら なつき 三浦 夏紀さん
(R3年度 農芸科学科卒)

コロナ禍で修学旅行に行けなかったのが本当に残念だった。社会に出ると年齢の離れた人と話す機会が多いので、高校のうちにコミュニケーション能力を身に付けて欲しい！

やまぐち ゆずき 山口 柚希さん
(R4年度 機械電気科卒)

野球部のみんなと一致団結し、夏の大会を戦ったのが一番の思い出。機械、電気の両方の資格を取れる学校は少ないので、高校時代に資格を取ったことが今につながっている。

科学の甲子園 初出場・初優勝!!

県立大船渡高等学校の1・2年生8人が、「科学の甲子園 岩手県大会」で見事、初出場・初優勝の快挙を成し遂げました。

この大会は、高校生が理科・数学・情報などの複数分野で知識や技術を競い合うもので、県内の名だたる進学校を抑えての優勝です。

チームを率いたリーダー細谷優太郎さん(2年)は、「このメンバーで出場し、優勝できたことを心からうれしく思います。仲間と協力して取り組む楽しさや科学の面白さ、困難に直面しても粘り強く挑戦し続けることの大切さを実感できました」と熱く語ってくれました。



メンバーで市長に優勝報告

学校での取り組み

部活動



大高祭



岩手県立 大船渡高等学校

イチョウが並ぶ大高坂を上って学校へ

県立大船渡高等学校では、生徒一人一人の可能性を伸ばすため、探究的な学び「大船渡学」を通して、主体的に考え行動できる力を育てており、令和7年度高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)の採択校として、外部人材の活用やICT機器を活用した取り組みを進めています。

部活動やボランティア活動も盛んで、特に今年2月に発生した大規模林野火災の際は100人以上の生徒がボランティア活動に参加するなど、学業との両立を大切にしています。

授業風景

定時制

基礎的な知識と技能の習得を大切にする授業を実践し、自己のペースに応じて3年間または4年間での卒業を選択できます。



安心で安全な学習環境を提供します

大船渡学

大船渡学は「自ら学び、自ら走る、新しい時代を開拓する人間力を磨く」をテーマに、自分の好きなこと、やりたいこと、興味があることで誰かを幸せにできないかという視点で活動しています。



大船渡学は「答えを創る」一時間

ボランティア活動



大規模林野火災時のボランティア活動



マインドマップを作りながらアイデアを広げます

地方公務員として
大船渡市に貢献したい!



勤務先: BBQ&ビュッフェ Happy(地域おこし協力隊)



くしびき 美音さん(平成30年度 普通科卒)

部活と学業との両立に悩み、一度は吹奏楽部を辞めようとしたこともあったが、先生の励ましに支えられて最後まで続けることが出来た。

Happyでは色々なイベントを企画し、地域を元気にする活動を続けているので、一緒に大船渡を盛り上げよう!

普通科3年 のだ みずき 瑞稀さん

先生方が生徒一人一人に寄り添ってくれ、進路の選択肢も広く、自分の夢に合わせて挑戦できるところが魅力。

現在は大学進学を目指して勉強しており、将来は地方公務員として大船渡市に貢献したい。

在校生に学校の魅力やこれからの目標について語ってもらいました。

在校生 VOICE 卒業生

普通科3年 ささき ゆいと 唯人さん

先生がフレンドリーで、探究学習「大船渡学」で地域と連携してさまざまな課題に向き合うのが魅力の学校。

現在は大学進学を目指して勉強しており、将来はアレルギー対象食品の開発などに携わる仕事に就きたい。

アレルギー食品の
開発に携わりたい!



勤務先: 株式会社東海新報社



でわ 出羽 海春さん(平成29年度 普通科卒)

受験対策に苦しんだ時期に先生や友達に支えられながら乗り越えたことが特に印象に残っている。

進路の幅が広く、自分の努力次第で多くの可能性が広がるので、後輩の皆さんには、自分の目標に向かって頑張ってもらいたい!